

つくばセンタービル改修計画に関する説明会議事録

日 時：令和4年（2022年）2月13日（日曜日）9時30分～11時
場 所：オンライン（ZOOM）
事務局：つくば市 都市計画部 学園地区市街地振興課
参加者：22人（延べ人数）

【学園地区市街地振興課長より説明スライドに沿って説明し、その後質疑応答】

（参加者 A）

改修案が大幅な設計変更となったそうですが、それによって、設計費がかかったり、余分な人件費がかかったり、大変な費用的な損害があったと思います。

大体その費用についていくらぐらいだとお考えですか。以上です。

（事務局・説明者）

様々な変更に伴って、変更を検討するのにも費用がかかっているんじゃないか、ということですが、設計費等については基本的に設計の変更自体はそれほど費用には影響しないと考えております。

あくまでも設計の変更でございますので、当然その際に人件費ということもございますが、それについては様々な変更というのは、当初から想定しておりますので、今回は大きな変更ではございますが、変更自体について大幅に設計費用が変わってということはないと思います。

（参加者 A）

僕も仕事をしていましたが、これだけ大きな変更があれば、会議の開催、市の職員の人件費、大変な費用がかかっていることは容易に想像ができます。

全く説明の内容には納得できませんでした。以上です。

（参加者 B）

現在吾妻交流センターの大会議室を利用しているものなんですけれども、その代わりになるスペースというのが、改正案の方の中二階エリアの会議室というところになるのでしょうか。

（事務局・説明者）

先ほど言った2.5階の会議室というよりは、大きく使うスペースとしては、今までもあつ

たイノベーションプラザの視聴覚ホール、それから 1 階のフリースペースのところにも、パーティーで広く区切れるところもありますので、そちらの利用も考えてます。

ただし、中二階の先ほどの新しい会議室につきましても、2 部屋になってますが、その 2 部屋は広く使うこともできますので、そういったところで会議室の利用は考えております。

(参加者 B)

筆洗い場を設置されるということなんですが、その位置は具体的にはどちらになりますか。

(事務局・説明者)

3 階視聴覚ホールの南側に女子便所・男子便所ありまして、その廊下のところに新たに流し台を設置するということ でいただいた要望の筆洗い場については考えております。

(参加者 B)

例えば会議室 A で書道サークルの活動をしてるときに、こちらの筆洗い場まで視聴覚ホールとかの利用があった場合に他に行くことってできるんですかね。

(事務局・説明者)

はい。今回ご説明では細かく触れなかったんですが、視聴覚ホールの廊下部分は、これまで視聴覚ホールで講座などをやっても、後ろを通るような構造になっていたんですが、そちらについては壁を設けて、会議室 A とトイレは、視聴覚ホールの利用者とは影響がない範囲で行き来ができるような設計としております。

(参加者 B)

講座室からも行けるんですか。

(事務局・説明者)

講座室からも行けます。

廊下を歩いてトイレまで行きますので、利用者の方はわかるかと思うんですが、視聴覚ホールのところが開放的になっていたんですが、そちらについては壁を設けて行き来がしやすいようにすることで考えてます。

(参加者 B)

あと細かい話なんですけれども、汚してしまっても掃除できるような素材を検討はしていただけるんでしょうかね。各部屋とも。

(事務局・説明者)

床の材質は今設計中ですがけれども、絵画サークルだったり書道サークルが使うようなことを想定して汚れてもいいようにという意見はいただいておりますので、そちらも踏まえて設計をしております。

(参加者 B)

ありがとうございました。以上です。

(参加者 C)

今、物理的な改造というか、ここにどれ、どこ置くとかいう話は説明を受けるとともにですね、市民の人たちが自主的ないろんな活動する一つの場として、ワンフロアの中に集めていただいたということはありがたく評価しております。

そういう中で、せっかくそういう具合に集まってきた各機能の部署ですね、そういった行政としての運営する体制づくりの見直しもこの際やっていただきたい、と思っておりますので、その辺のお考えをお聞きしたいなと思っておりますけども。

この場所が具合が悪いからこうだ、というような話じゃなしに、私の話はソフト面の質問ですので。

(市長)

運営のあり方についても先ほどちょっと触れましたが、今どういう形が一番いいかというのは検討をしているところです。

参加者 C さんからいただいたご要望も私読ませていただきましたけども、どういう形が最もこのセンタービルの改修、というかこのエリア全体に資するような運営形態かというのを、よく整理してできるだけ無駄なく、かつ市民にとっても、それはちょっとこっち、ということはあまりない方がいいと思いますし、一括管理することのメリットという運営することのメリットというのはあると思いますが、それぞれいろんな形のご意見はありますので、その中で、全体としてどういう運営がいいかというのをよくこれから考えていきたいというところで、すいませんちょっと今日の時点でまだ結論が出てないですけども、あまり縦割りっぽいことにはしたくないなというのは思っております。

(参加者 C)

わかりました。それでですね、いわゆるこういう機会、チャンスですんで、それぞれの交流センターなり市民活動センターなり、そもそもどういう機能を持ってどういうことで市民の皆さんにサービスできるかとかですね、そういった話し合いの場を一つ市民の人たちも入れて設けていただいたらなと思っております。

本当にせっかくここまでやっていただいたんでね、本当に使いやすい、市民として使って

頼りになる総合的な部署というようなことに生まれていくことを期待しております。

その中で一つだけちょっと機能として検討していただきたいのはですね、高齢者が増えてきて、元気な高齢者の方もたくさん出てきている。そういう意味でいわゆる職業というか、ハローワークの機能をですね、作っていただくとありがたいんじゃないかなと思っております。

これはかなり今、いわゆる定年がどんどんどんどん 70 歳とか 75 歳とかというような話まで出ている状況ですんで、片や受入れる職業の方も、いろんな面で多様化してくるんじゃないかなと思うと、それから若い方でもちょっとスピニアウトされたような方々を、どういう形で社会に復帰してもらうかというようなことが相談できるようなこととかですね、それをまた、サポートする市民活動団体、NPOとかたくさんあるわけですから、そういったことが一体化してそこで総合的に 1 人も取り残さないつくば市、というテーマもあるわけですから、そういったこともこれに入れながら 1 階フロアの働きというか機能というものを我々も入って議論させて欲しいと思っていますし、行政の方もそういった形で考えていただきたいなという切なる思いでございます。以上です。

(市長)

はい、ありがとうございます。

運営のあり方については、ご指摘のようなことを踏まえて、できるだけ皆さんにとってのいい形、おそらくそれぞれ考え方が違いますので、全員納得とはならないと思うんですけどそのプロセスが大事だと思いますので、何らかそういう運営のあり方についての協議の場というのはつくれたらいいなというふうに思います。

それから高齢者の方の働く場ということですが、それも非常に重要なことだと思っています。本当に人生 100 年時代とか言われてますけども、そういうふうな形で例えばリタイアした方が、よく地域デビューをなかなかできないとか、例えば団体に入っても何か企業の時のような感覚でやってしまっとうまくいかないとかそういうことがよく、日本全国であることですので、何か市民活動課などでもある、地域デビュー講座とか、いろんな講座のあり方があると思いますので、そういうものはつなげて、例えばシニアの方が、地域の活動に入っていきやすくなるような仕掛けというのはできるんじゃないかなと思っています。

一方でハローワークはですね、吾妻小の隣に今あるので、すべてをおそらくセンタービルで集約するというのは難しいと思っていまして、今私どもとしてはエリア全体で都市に必要な機能を考えていこうということを行っています。吾妻小までのエリアまで含めて、やはりスタートアップパークなどもありますけれども働くという意味ではやっていきたいと思っていますので、あらゆる機能をこのセンタービルですべて賄うのは、ちょっと大変かなというのも思っています。

ただ、参加者 C さんのおっしゃるように、そのシニアの方の入口としての市民活動とい

うことは非常にあると思いますので、その辺はハローワークともよく情報共有をしながら、できればですね、まず入口となるのはこういう市民活動センターなどが、そういうシニアの方のセカンドライフなのかサードライフなのかわかりませんが、過ごし方としてもまず相談聞いてみようかなと思えるような場所になっていくことは理想的なことだと思いますので、そういうことはどんどんリニューアルを仕掛けていきたいなと思います。

(参加者 C)

お願いいたします。どうもありがとうございました。

(参加者 D)

今日ですね、市民説明会なんですけれども、実は市民全員が参加できる市民説明会って今日が初めてだと思います。このつくばセンタービルに関しまして私はたまたま市民団体にちょっと関係していたので、11月に説明会には出ていますけれども、オープンハウスもやっていますけれども、まだあの頃は情報も少なかったですし、それからその後もですねいろんな市民の意見踏まえて、エスカレーターがなくなるとかですね、相当程度ですね、案が変わっております。

相当スペースも狭くなってやっぱりよくないだろうってことで、レイアウトも相当変わっていますので、この説明会1回で、3月の議会ですと、予算を通すっていうのはちょっとどうかなと。市民の方々からこの大規模事業評価としてですね、これ10億近いと、まちなかデザインの出資金を合わせると、10億円超えるようなもののなのに、大規模事業評価をせずに進めると。大規模事業評価をしないのであれば、例えば今やってる、陸上競技場の大規模事業評価がどうなっているかっていうのをね、やっぱり反面教師にする。

あちらではやはり、どれだけの課題があって、どういうニーズがあって、そして具体的に定量的にね、やっぱりニーズや効果をきちっと測定しながら事を進めていこうという趣旨のことをね、委員長ほか委員の方から言われていますので、こちらのセンタービルに関しても、今日説明していただいたように、最初の説明のね、地域の課題というつくば駅からちょっと遠くなったとかね、人通りがとかいう話だったんだけど、実際の説明ですね、案の説明になったらもう個別具体の配置のレイアウトとかそういう話なんで、どれだけ市民の要望とかね、需要が何人どれだけ使うとか、どれだけの声があるかっていうのをトータルで、それからどういう課題がっていうのを、整理した上でになっていないかと。これ大規模事業評価にかけると多分、陸上競技場と同じことを言われるんだろうなということで、私この3月の議会でそのまんまいっちゃうと、これ相当市民が後で怒るだろうと。

隣にまちなかデザインが空間を使っていますね。相当広い程度で、私このまちなかデザインが持続可能な組織だと思っていません。

いろんな情報公開をされてるの、限られてますけど、いろいろ集めてね、いろいろ見てもね、やはり出資者の構成にしても、それからこのセンタービルを大体いくらのお値段で賃貸

しているのかとか、そういうのも全然よくわかんなくて極めて不透明ですね。

こういう市民の大事な空間をそういう、何か飲み屋さんとかね、飲食店とか貸しオフィスとか普通に民間でできるところに貸すっていうビジネスをするってことは、誰も意見を言う機会がこれまでなかった。

私は少なくともパブリックコメントやね、オープンハウスでも意見をしたらけど全部無視されてね、こういう不透明なまま、よくわからない組織が一番センタービルの良い場所をがつつりおさえてるんですよ。

がつつりおさえた状態で限られた中で、市民が交流センターとか市民活動をやっているのはね、私、この出発点がおかしいと思うので、これを3月議会でもし通したらね、議員さんは選挙で応援しあったとかね、市長を取り巻いたら口ききが成功するみたいな、運動公園の住民投票をやったぐらいの頃からつくば市及び市議会が正常に機能してないと思いますので、私は少なくともつくば市がまともに市議会や市役所がきちっと市民と一緒に、取り巻きとつくる市じゃなくてね、ちゃんとみんなと誰ともね、全体と分け隔てなく作るような市になるようにね、私はそういうおかしい人達をきちっと批判し続けたいと思いますので。

この3月議会を通すというのをしっかり注視して、誰がこれを通したのか、そしてエスカレーター2機作るとかね、2機作るのに反対、いや1機はいいんだとかいつまでも言い続けた議員さんとかちゃんと私は全部見てますし、これやっぱおかしいだろうと市民の目側に立ってた議員さんもいました。

そういうね、やはり誰がどういう行動してたかっていうのをきちっとね、やっぱりちゃんと市民に、こういう今日の説明会だって広報つくばの2面でとってもちっちゃいですよ、誰も気づいてないです。

オープンハウスだって多分誰も気づいてないと思いますよ、ほとんどの人が。

やっぱりつくば市を、私は変えたいと思うので、こういう場にまたあらわれてね、意見したいと思います。以上です。

(市長)

はい。ありがとうございます。

誰も見ていないことはないと思いますけれども、ご参加いただいていますので。私どももいつもですね、こういう説明会をやる際などは本当に周知をもっとできないかなとかですね、もっと市報を読んでもらえるようにならないかなとかですね、そういうことは思っています。

そういう意味でもですね、オープンハウスをやって、期間を長くしてみたりっていうふうにしてご意見伺うようにはしてるんですが。

今、参加者Dさんがおっしゃられたことは、私はすごく大事だと思っていますし、ありがたいことだと思っています。

我々がなかなか情報を届けられない中で、こうやって市政に関心を持っていただいで

すね、誰がどういう意見を言ってるのかとかですね、議員はどんなことを発言しているんだというところまで、見ていただけるということは、これ民主主義の基本なところですので、これからもそういう形で、市政を見ていただいて、本当にこういう場ですね、ご意見をいただいて、というそれが私は民主主義のプロセスだと思っていますので、お話をお伺いして大変心強かったのでぜひこれからもよろしくお願いします。

(参加者 D)

はい。ありがとうございます。

(参加者 E)

私どもはですね、今、吾妻交流センターの大会議室を使わせていただきまして、その関連でご質問を3点させていただきます。

1点目はですね、今回の修理のために使えなくなる期間が具体的に今現時点でどのくらいの期間なのか、いつごろなのかっていうこと。

わかる範囲で教えていただきたいということと、それから、2番目にですね、前回の説明会では使用人数がそれぞれの会議室で明示されたんですけども、今回のご説明では、そこがなかったんで、どの会議室がどのくらいの人数を想定しているのかっていうの。特に我々30人以上の規模でやっているものですから、そこを知りたいっていうのが2点目です。

3点目はですね、各会議室の机とか椅子の配置のレイアウトですね。使用時に、自由に移動できてそれを元通りに直せばいいのかどうか、その確認をしたいと思います。

以上3点です。よろしくお願いいたします。

(事務局・説明者)

まず1点目、使えなくなる期間ということですが、吾妻交流センターを利用いただいているということでしたので、新しく整備してから吾妻交流センターの引っ越しを行いますので、基本的には使えなくなる期間ということはないです。

ただ引っ越しのときに、数日間ということはあるかと思うんですが、基本的には交流センターの利用者の方は閉鎖するということはないです。

人数はですね、定員というものの計算の仕方がありますので、イスを並べたのが定員なのか、平米で定員が決まってくるのか、というのもあるんですけども、基本的には会議室は同程度、面積を確保してまして、それまでは大会議室というのは63平米ございますけれども、新たに作ったところの、例えば視聴覚ホールは171平米ありますので半分にしても、80から90平米ございますし、フリースペースの方に設けるパーテーションで区切ることができるのも65平米ございます。

また会議室3階に、2.5階のところにある会議室というのを設けますが、これも二つ合わせれば40平米というふうになりますので、大会議室と同じような機能というものを確保し

ているということで考えていただければと思います。

三つ目ですね、実際の先ほどのレイアウト椅子の配置であったり、その後片付けるときどうするかという、今後、運営に関わる場所ですので、そこは引き続き備品等もこれから考えていきたいと思っていますので、本日いただいた意見も含めて運営の方は考えていきたいと考えています。以上です。

(参加者 E)

どうもありがとうございました。

(参加者 F)

今、吾妻センターの音楽数でコーラスやっていますが今、定員の件ですが、74 平米で 30 名の定員ですね。100 平米になって、定員は何名になるのかっていうのを聞きたい。これは拡大のために、必要な所です。

二つ目は、引っ越しする際に今現在、倉庫の中に楽譜とかいろんなものをちょっと置かしてもらっているんですが、その移転っていうのはどのように新しいところへ移すのか。どうするかということをお聞きしたいです。以上です。

(事務局・説明者)

音楽室、これまでが 74 平米、新たに 100 平米ということで面積は多少前後します。周りの配置のずれで若干変更することがあるんですが、基本的には、面積は音楽室は大きくなると思っています。

定員案ですけれども、定員の考え方というのがありますので、今こういうコロナということもありますし、何人までは入れるかというのは広さであったりの関係もあると思いますので、今の時点では新たな音楽室の定員というのはまだ決定していないんですけれども、これまでよりも広がりますので、定員というのは基本的に多くなるのかなと考えております。

今倉庫に入っている物品なんですが、基本的に市の物品は市で移設します。個人の方のものが入っているというところはあまり想定していないので、そちらについては、今現在でどうするということははっきりしていないです。

(参加者 F)

はい。ありがとうございました。

(参加者 G)

先ほどですね、参加者 D さんも言われてましたけれども、今回の説明会は人が多いですね。この 28 人、もちろん市長含めてですけども、前回、私、11 月 21 日は 11 名の中でしたけ

ども、いろいろ工夫されたと思うんですけど、前回、今回も入りやすかったですね。やはり 100 名ぐらい入れようとなればですね、もうちょっと工夫して入りやすいようにしないと、私たち年寄りとして入りにくいし、それから最初の時に課長が話してるとき聞こえにくかったですね。あれはもうちょっと、もう半分以上聞こえなかったですね。

そういうものも、前提でいろいろしゃべったんですけど、まずですね、広報つくばを見た中で、確かに先ほどどなたか言われてましたけど、文章が少なかったということは。文章自身もですね、例えばエスカレーターの問題について、市民窓口がなくなったからいいんだとかですね。

意匠とかですね、意匠という言葉、これ私が文学的なセンスはわかんないですけど、意匠なんていう言葉は、私はわかりづらいですよ。ストレートに例えば技術的とか美術的なとかですね。エスカレーターをつけられて反対の方がおられましたけども、私も反対賛成じゃなくてですね、やはりもうちょっと磯崎さんの話を、ここにコメントをちょっとでも入れるとかですね。これおそらく、10 年か 15 年後、磯崎さんのクローズアップされてくると思うんですよ。

そういうのをですね、本当、市役所と今回の設計者の人と何でこんな案を出したのかね、本当ある意味恥ずかしいと思いますね。

もっとたくさんの意見を聞いたら、私、本当、渋谷さんなんか昔からいろんな意見聞いてくれて本当感謝してんですよ。

だからもっと市民に寄った形の、市民と一緒に考えようという気持ちのあれをしなきゃいけないですね。例えば、意見聞くだけでなく、市民の、私なんか駄目ですけどね、やっぱり代表者を入れて一緒にそこで討論するとかですね。こうしよう、ああしようといって良い意味で責任を持たして、やっていけばもっと良い案が出ると思うんですよ。

ただこういう案件をやっていると一方通行なんですよ。

だから私も、今回もっと意見あるなら、今月いっぱい意見を書いてくれとありますので、言わせてもらいますけど、ぜひですね、市民がそこにいるという前提の中で。今回のできた案として私は、まあまあ合格点じゃないかと。失礼な言い方ですね。

だけど、つくばセンタービルというならそのセンターをどうするかいう全体のことも、先ほど参加者 C さんも言っておられたけどね、やっぱり全体的なことを考えて魅力あるところにするべきだと思うんですよ。

そしてもう一つ最後言わせていただきますと、遠くてもですね、利便性が悪くてもですね、用があったら出てくるんですよ。皆さんも山に行ったりハイキングに行きたいときは、ちょっと苦労していくとかね。もちろん便利の方がいいですよ。私も足腰が多くなったら、エスカレーター・エレベーターはあった方がいいと思うんですけども、散歩している人から見れば、そういうのは、二の次でいいと思うんですよ。

ということでですね、本当にいろんなこともやっておられてね、どんどん進めていっていただきたいんだ。それと市長よろしくお願いします。以上です。しゃべり過ぎでした。

(市長)

ありがとうございました。

どうするかというのは非常に大事なことで、ちょっとさっきもお答えしましたけれども、国が全体として最初に作ったものに対して、中心市街地まちづくりヴィジョンというものを、これ 2017 年とか、8 年とか、数年前に作りました。

それはまさに中心市街地をどのような場所として位置づけるかと。こういうことですね。三つの柱ですね、リラックス、遊び心、科学技術の恩恵、と新たな価値を作っていくということ。

そして 3 点目がローカルと持続可能性というのは、その三つの柱をもとに中心市街地というのはこういうエリアに将来的にしたいよね、というビジョンを描いて、その次に、まちづくり戦略というのを作ったわけですね。

ここでリーディングプロジェクトというメインとなる取組みというものを整理をして、作ってですね、その中の一つが今回のセンタービルという位置付けなんですけれども、我々の努力不足で例えばそのビジョンについて存在を知らない方もいらっしゃるし、戦略を作っていることも、そういうのは随時、当然広報などにも載せていますけれども。

さっきもありましたが、まだそういうプロセスを踏んでいることも、なかなか私どもも伝えきれていないところもあるんだろうなと思っていますので、議論としてはいろいろ積み重ねてはいますし、議会の皆さんともですね、特別委員会等でいろんなお話をしながらやっているんですが、やはり市民の皆さんや利用者の皆さんから直接、対話しながらですね、作っていくというのは非常に大事なことだと思っています。さっきも例えば筆洗い場のお話なんかありましたが、意見交換会の中で意見を出していただいてですね、それをどういうふうに反映するかというようなことを、一つ一つ積み上げていっていますので、ぜひ、この 28 日までのご意見も、運用で対応できるところはですね、できる限り対応したいというふうに思っていますし、基本的なスタンスとしてはそういうふうですね、ご意見をいただいてキャッチボールをしていきたいなというふうに思っていますので、すべての方に回答というか、100 点満点の回答というのはもう、残念ながらできない部分もあるんですけれども、そういう中で我々としては、市民にとって長期的に何がいいかということを考えながらやっていきたいと思っていますので、ぜひこれからも忌憚ないご意見をいただければと。

(参加者 G)

どうもありがとうございました。もちろん全員が 100 点満点の回答を望んでいませんので、今回についても反対と言った方でもですね、ある程度落ち着いてよかったと思っていますので、こういうキャッチボールを何回もしてそのキャッチの仕方をよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

(参加者H)

今回のこのセンタービル改修については、市民の意見を全く聞かずに、いや、ほんのちょっと聞いているようですが、アリバイ作りのようにしか私には見えません。

コロナが口実なのでしょうが、例えばオープンハウスだって、何があるのか私には、たまに、勝手につくば大使さんのT w i t t e r で見たんですけれども、それで知ったし、こういう説明会も、例えばこの広報が出る、うちに配られる前にもうオンラインになったっていうのは聞いたんですが、広報はそのまま配られて、普通にやるように書いてありました。

思い起こしますと、1 期目の時のタウンミーティングっていうのがありましたけれども、あの時は、個別にも配布されたような気もするし町内にも回覧が来ました。それで行きましただけども、たくさん人が来て、いろいろな意見を聞いていました。

そういうふうに、いろんな意見を出す場があったのに、2 期目になったらもう何か、細々こそこそとやって、詳細設計に入ってから意見を募集して突然ひっくり返すと。こんなことを繰り返してたら、市民は1 0 0 満点なんて誰も求めていません。

なるべく幅広く多くの人の、意見が通るように、そうするとみんなこのまち良いな、ここに住みたいな、住んだらずっといたいなって思うようになると思うので、これから先どういうふうに意見を、市長の似顔絵が書いたって私の知人に非常に評判の悪いかわら版なんですけど、私がこれやりましたしか書いてありません。

そうじゃなくて、ここにこういう意見を寄せてくださいとか、例えば今日のミーティングだって、自分の顔出して発表しなくても、聞くことができれば、こんなふうなんだな、こういうことを考えてるんだな。ユーチューブで配信でも何でもいいですから、もっとみんなに、P R するようにして欲しいと思います。

それが1 点と、もう1 点、そのセンタービルに飲み屋が入っても、たくさんの人が幸せになるとはとても思いません。

私があつたらいいなと思うのが、流山市のように、駅で保育園児をピックアップして保育園に送る送迎場所にすると。

あと私はもう一つの学童保育もそうして欲しい。

竹園西小のあたりを学童保育の子たちが来る時間帯に通りますと、もう歩道にも、子供たちがいて、児童館前にもいて、車道には送迎のバスが停まってて、自転車で通るとき一体どこを通ったらいいのか。一般市民が非常に危険な思いをするので、そういうふうに、子供たちのためにね、つくば市は考えてますよ、そうすると皆さん楽しく、つくばで楽しく暮らしていく子供も増え、いいまちだなって思うようになると思いますので、そのピアバーではなくて、もっと広い、たくさんの人たちが使えるように、送迎場所もそうですし、なければW i F i を完備して、高校生やら、高齢者でスマホができない人が、やってきて教わるとか、そういうふうに幅広く、たくさんの人へ幸せになるように、考えていただきたいので、そういう意見をこの先どういうふうに募集して、どういうふうに皆さんにお知らせして、どういうふうに反映させていくのか、具体的にお願いします。

(市長)

ありがとうございました。

説明会等もちょっと繰り返してしまいましたが、我々としてはもちろんリアルでやりたかったですし、一方で、今これだけの、昨日も 160 数名の感染がありましたが、こういう中で開催することは、なかなかリアルでは難しいという判断で行ったわけですが、アリバイづくりというふうに、参加者Hさんがお感じになられるという事はですね、よく伝わってきましたし、そういうふうにお感じになられる方がいらっしゃるんだということは、ちゃんと受けとめたいと思っています。

やっぱりいろいろな考え方がありますし、かわら版も評判悪いということですが、かわら版が今までの広報物の中では一番いいような反応も聞いたりしてしますので、やっぱりそういうことも踏まえて、同じものでも受け取り方は、やっぱり様々ですので、できるだけ広くご意見を伺う機会というのはですね、これからも作っていきたいと思いますし、先ほど、私はこういうものがいいという話がありましたが、そういう私はこれがいい、というご意見がたくさんあって、市民の意見として最終的にじゃあどうするか、ということを我々で考えてですね、そして議会の皆様さんにご相談していくというプロセスを経ていますので、ぜひ 28 日までのご意見募集の中でも、そういうご意見を率直にお寄せいただいて、それがどういう形になるかということは、最終的な判断ではありますけれども、そういうプロセスは当然大事にしていきたいと思っていますので、ぜひ、ご意見お寄せいただければと思いますよろしくお願いします。

(参加者H)

はい。ということは 28 日までに意見募集するぐらいしか、私にはやれることがないっていうことでしょうか。

(市長)

はい。そこでご意見お寄せいただければと思います。お願いします。

(参加者H)

かわら版、私の知り合いが、家に来る度に周りの人に評判が悪い、評判が悪い、と聞いてもいないのに言っている。かなりの人には評判が悪いようです。

評判が悪いのはあまり耳に入ってこないかと思いますが、なんか似てない似顔絵だとか言ってる人がいました。

あと、つまり自分がやったやったっていうことを書くのに、市の税金を使うのはおかしいんじゃないかなって。よく市議会議員さんも自分の後援会費で、チラシをポスティングしてますけども。

そうすべきものなのではないでしょうかというの。これは税金でやるものではないんでは。それ、税金で自分がやったことをやってるんだったら市報の一部に書けばいいんじゃないかと。別にポスティングするのはお金のことだと思いますので、これは考えてください。

(市長)

本題とずれてしまってるんで簡単にお答えしますが、かわら版で別に私がやったということではなくてですね、市として行ってる事業をどうしたらわかりやすく伝わるだろうか、ということを様々広報の職員たちも本当に悩ませながら取組みを工夫して行ってくれていますので、そういうプロセスで、逆に議会等でもっと私がいろんな場所に出てですね、もっと私の動画をつくれとか、そういうご意見も一方であったりもしますが、市としての事業を市長として紹介するというのは、おそらく基本的なことなんでしょうと思いますし、そういう取組みはですね、今広報でも、どうしたらもっといろんな形で、例えば手法ももうちょっと双方向性にしようか、とかそんなことも工夫していますので、皆さんの周りで評判が悪いというご意見はよくわかりましたけれども、いろいろと改善をしながら取組みを進めていきたいと思います。よろしくお願いします。

(参加者H)

わかりました。ありがとうございました。

(市長)

先に参加者Iさんからチャットで質問が来てましたね。

(事務局・司会)

はい、チャットで参加者I様からご質問いただいています。料金のことと、吾妻交流センターの異動後の空きスペースの使用計画をお聞きしたいということでいただいておりますので、こちらに対して回答いたします。

(事務局・説明者)

まず料金のことですが、どの料金をどのようにするか、ということはこれから検討していきたいと思いますので、具体についてはまだ確定してないところです。

吾妻交流センター移動後の計画ということですが、基本的に今回公共施設につきましては、各施設と同等以上、必要な公共施設をまず確保して、それ以外のところは貸し出しということで、今のところ考えておりますので、吾妻交流センターのところにつきましても移設後は、働く人を支援する場として、市から貸し出してつくばまちなかデザインが運営するということで検討しております。

(参加者 J)

今回初めて説明会に参加させていただきます。

ちょっと勉強不足かもしれないんですけども、今回レイアウト等いろいろ変わるということで、いろいろ資料見させていただきましたが、建物もちょっと老朽化してるということでしたけれども、耐震とかそういった方の強化というか、そういうのも併せて今回の改修工事に入っているんでしょうか。

(事務局・説明者)

耐震については、耐震の調査もしておりまして、基本的にセンタービルの柱や壁、躯体等については基本的に問題ないということで、結果が出ております。

主に老朽化しているといった場合に、我々で老朽化と言ってるのは、設備ですね。電気であったり換気、そういった設備についてはやはりどうしても老朽化しているということなので、そういった面であったり内装のところを今回改修するというので、外壁やカフェ、そういったものは大幅にはいじらない、改修はしないですし、耐震についても耐震基準を満たしているという結果になっております。

(参加者 J)

ありがとうございます。安心して使えるので、それをお聞きできてよかったです。

あとごめんなさい、もう 1 点なんですけれども、今後例えば会議室ですとかそういったものもオンライン会議があったりとか、そういった会議の開催っていうのもこれから増えてくると思うんですが、そういったものに対応できる、例えばネット環境ですとか、先ほど W i F i を入れていただけるようなお話もあったと思うんですけれども、そういったネット環境の強化というかそういった設備も、今回いろいろ会議室が新しくなるところは取り入れられるということで考えてよろしいですか。

(事務局・説明者)

W i F i についてはいろんな要望をいただいておりますし、おっしゃる通り、今後会議もウェブ会議ということも増えてくると思いますので、基本的には W i F i で全館カバーできるようにしたいと考えております。ただ、位置的に電波の都合ですべては難しいかもしれませんが、基本的に会議室やフリースペースなどは、すべて W i F i がカバーできるようなことで今検討しています。

(参加者 J)

はい、ありがとうございます。

なければその辺りの強化もしていただけると、今後利用するのに助かります。

よろしくお願いいたします。以上です。

(事務局・司会)

ありがとうございました。

それでは質問の方もないようですので、市長から何かありますか。

(市長)

はい。ありがとうございました。

こうやってご意見をいただく機会っていうのは、冒頭ご説明しましたけれども、なかなか説明会だと参加される方が限られてくる中で、私どもとしては、オープンハウスは、できるだけ自由な時間に来ていただいて、そこでじっくりと職員から、不在の時間もありますけれども、話をさせていただいて職員もそういう場でご意見いただけるのはありがたいと思ってオープンハウスもやってきたんですが、そういうものだけでもやっぱりまだまだ不十分だなということは感じますし、今日いろいろご意見いただいたようにですね、こういうキャッチボールをしながら、改善できるところはしていくと。

そして、最終的にももちろん議会の議決をいただくということが必要ですけれども。

そのプロセスというのは、今もタウンミーティングで継続していますが、大事にしながらですね、今後もセンタービル、あくまでも中心市街地の一つのプロジェクトですけれども、ほかにも多くのプロジェクトがありますので、皆さんとこうやってですね、対話をしながら、一つ一つ進めていきたいと思っておりますのでぜひこれからもですね、いろんなご意見をお寄せいただければと思っています。

今日は日曜日の午前中という本当に、お忙しいお時間にご参加をいただきましてありがとうございました。

(事務局・司会)

それでは以上をもちましてつくばセンタービル改修計画に関する説明会を終了いたします。本日はご参加いただき誠にありがとうございました。